

令和7年度 学校自己評価システムシート 日高市立高麗小中学校

目指す学校像	やるときはやる！ミラクル高麗 奇跡を起こせ！ 子供のよさや取り柄を伸ばす 笑顔あふれる学校
重点目標	①義務教育学校高麗小中学校開校による一層の整備(教育課程、施設整備等) ②保護者・地域と一体となった教育活動の充実、新たな活動の創出

学 校 自 己 評 価											
年 度 目 標			年度評価 (令和7年12月26日現在)						学校運営協議会での評価		「学校運営協議会での評価」を受けて
評価項目	具体的方策	評価指標	評価基準	教職員の割合	保護者の割合	目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策 (次年度へ継続する課題・改善していくための方向性)	学校運営協議会での評価		「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(※変更点や追加事項等がない場合は空欄)
									実施日 令和8年1月29日	学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	
本年度の重点目標	職員も子供も自律する	1 「子供のよさや取り柄を伸ばす 笑顔あふれる学校」をミッションに据え、子供が前向きに取り組めるような支援をしている。	A+B	100.0%	95.3%	・本校の目指す学校像が保護者にも浸透され、教育活動の活性化につながられた。 ・めざす15歳像を意識した、教育体制を整えたことで子供への指導に生かされた。 ・「学校の主役は子供」を前提とした教育方針が浸透し、児童生徒の主体性、自尊感情の醸成となった。	X	課題: 高麗小中学校開校により、保護者の興味関心を多く寄せられた事で一定の評価は得たと捉えている。次年度は児童生徒自身が成長や達成感をより実感できる活動へと発展させていく。 改善方策: 今年度の活動を丁寧に振り返り、次年度よりよい活動にするよう構築する。	実施日 令和8年1月29日	学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(※変更点や追加事項等がない場合は空欄)
	チーム支援体制	2 めざす15歳像「よく学び 心豊かに たくましい高麗っ子」を意識し、教職員が支援体制をつくり子供の教育を行っている。	A+B	100.0%	96.4%						
	個のよさや取り柄を伸ばす	3 学校行事や旅行的行事など教育活動全体を通して、子供一人一人のよさや取り柄を伸ばしている。	A+B	100.0%	95.0%						
組織運営の充実 小中一貫教育の視点	学校教育目標の具現化	4 学校教育目標「立志 友愛 創造」を目指した教育活動を進めている。	A+B	100.0%	92.8%	・学校教育目標を意識した教育活動を着実に進められた。 ・高麗地区や義務教育学校の特性を効果的に生かした教育活動ができた。	X	課題: 「ふるさと科」が実施された。これまでの総合的な学習の時間・生活科の取組を主に反映させた年間指導計画としたが、野外活動が多い学年があるなど全体的なバランスを調整する必要がある。 改善方策: PDCAサイクルの理念で検証し、よりよい教育課程を創り上げる。	実施日 令和8年1月29日	学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(※変更点や追加事項等がない場合は空欄)
	小中一貫教育の充実	5 体育大会や合唱祭など、前期課程(1年生~6年生)と後期課程(7年生~9年生)が連携した教育活動に取り組んでいる。	A+B	92.3%	92.8%						
			Aのみ	43.2%	53.8%						
基礎学力の定着	わかる授業	6 学習内容が身に付くよう「わかる授業」をしている。	A+B	100.0%	91.4%	・「子供が主体となる授業」へとより改善され、「わかる授業」を一層進めることができた。 ・家庭学習や自主学習の実施が習慣化するよう、継続的に実施した。	X	課題: 授業づくりに対する教職員の意識改革を一層進め、更なる授業力向上を図る必要がある。 改善方策: 研究授業の実施や教材研究のための時間確保を進める。	実施日 令和8年1月29日	学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(※変更点や追加事項等がない場合は空欄)
	学習習慣の確立	7 子供の学習習慣が身に付くような取組に努めている。	A+B	92.3%	92.8%						
			Aのみ	36.0%	46.2%						
保護者や地域との連携 コミュニティ・スクールの視点	教育活動の情報発信	8 学校だより、連絡通信アプリ「LEBER」などを通して、学校の教育活動を発信している。	A+B	92.3%	97.8%	・定期的に本校の教育活動を発信できた。 ・保護者や地域、学校運営協議会と連携し、様々な課題を着実に解決できた。	X	課題: メール配信システムによる定期的な情報発信はできたが、HPを充実させることができなかった。 改善方策: 他校の取組等を踏まえ、HPのあり方を検証していく。	実施日 令和8年1月29日	学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(※変更点や追加事項等がない場合は空欄)
	家庭・地域との連携	9 保護者(PTA組織)や地域学校協働本部、学校運営協議会と協働し、よりよい学校づくりをしている。	A+B	100.0%	95.0%						
			Aのみ	65.5%	76.9%						
社会性・人間性の育成	秩序と規律ある生活態度の育成	10 あいさつ・ルールやマナーを大切に、他者と協調、規律ある態度の育成に務めている。	A+B	100.0%	91.4%	・全ての教育活動の成果により「自分も相手も大切に」児童生徒の育成が進められた。 ・体験活動を計画的に取り入れた活動を実施したことで児童生徒の社会性や人間性が育成できた。	X	課題: 児童生徒主体の活動としていることで、様々な成長を遂げている。 改善方策: 義務教育学校の特性を最大限生かせるよう、より児童生徒の主体的な活動を取り入れていく。	実施日 令和8年1月29日	学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(※変更点や追加事項等がない場合は空欄)
	地域の特性を生かした豊かな心の育成	11 野菜の栽培・芋煮会・河川清掃・チャレンジワーク等を通して、郷土を愛する心や社会性、人間性を育成している。	A+B	100.0%	97.8%						
			Aのみ	54.0%	65.4%						
安心安全な教育環境	清潔で美しい環境作り	12 日々の清掃活動、保護者の協力による環境整備などを通して、学校を清潔で美しい環境を作っている。	A+B	100.0%	97.1%	・保護者等の協力により、環境整備(草刈り・除草作業・花植え作業)が充実した。 ・月一回、安全担当により安全点検を確実に実施した。また毎日管理職3人で校内を巡視し、必要な修繕等を迅速に行った。なお、不定期で管理職により、防犯点検を実施した。	X	課題: 校庭の環境整備(除草・草刈り等)が大きな課題である。 改善方策: 定期的な剪定等により、環境を維持していく。	実施日 令和8年1月29日	学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(※変更点や追加事項等がない場合は空欄)
	学校事故の未然防止	13 定期的な安全点検、日常の点検から必要に応じて補修、修理することで安心安全な環境を保っている。	A+B	96.2%	96.2%						
			Aのみ	66.9%	61.5%						